

思い立って、chatGPT に自分の読書歴を分析して貰った。流石にA I はやるのが早い。
2012 年 1 月 20 日から 2025 年 6 月 28 日までの読破冊数 3617 冊の分析である。

1. 年・月平均読書冊数

- ・年平均読書冊数：392.0 冊
- ・月平均読書冊数：33.88 冊
 - ・ 月平均でもコンスタントに 30 冊前後を維持しており、非常に高い読書量です。

2. 年次別読書冊数

年	冊数	年	冊数	年	冊数
2012	168	2017	590	2022	636
2013	179	2018	562	2023	439
2014	178	2019	414	2024	356
2015	211	2020	546	2025	136
2016	261	2021	812		

3 読書傾向の特徴

- ・時代小説・歴史・警察・医療・サスペンス系が多く、現代社会と歴史の交錯に強い関心を持たれている読書傾向です。
- ・推理・探偵・サスペンス（545 冊）や時代・歴史小説（402 冊）**が多く、娯楽性と知的好奇心の両立が感じられます。
- ・大東亜戦争関連の軍事史（182 冊）も多く、関心の深さがうかがえます。
- ・「時代小説」系の著者の読破数が非常に多く（北方謙三・葉室麟・坂岡真など）、歴史や武士道への強い興味が表れています。
- ・「推理・警察小説」や「医療・理系ミステリ」系も複数の著者にまたがって安定して読まれており、現代社会を背景にした知的刺激を求める傾向が見られます。
- ・「中国史・時代小説」に分類された北方謙三の作品群が一大勢力をなしています。

4. 著者別読破数（上位 20 名）

No	著者	冊数	No	著者	冊数
1	北方謙三	106	11	上田秀人	57
2	今野敏	100	12	藤井邦夫	53
3	東野圭吾	87	13	福田和代	52
4	葉室麟	72	14	森村誠一	49
5	堂場瞬一	71	15	伊東潤	46
6	楢周平	64	16	高嶋哲夫	46
7	野口卓	63	17	久坂部羊	42

8	知念実希人	60	18	宮城谷昌光	41
9	今村翔吾	60	19	喜多喜久	39
10	坂岡真	59	20	下村敦史	37

5. 年次別ジャンル読書傾向（主要ジャンル）

これも細かく眺めれば面白いが、省略しよう。時を経るに従い興味と関心は移ろうものだ。

6 ジャンル別分析

新ジャンル名	主な該当著者	特徴
法廷・医療ミステリ	中山七里、大門剛明	医師・弁護士などを主人公に据えたサスペンス
建築・宗教ミステリ	周木律	建築構造・宗教的謎解きの要素あり
旅情・地理ミステリ	内田康夫	国内各地を舞台にしたご当地的事件
心理サスペンス	明野照葉、横関大	心理描写や家庭内トラウマなどに焦点
社会派・経済小説	池井戸潤、薬丸岳、伊岡瞬	企業・経済や社会問題がテーマの作品
人情・戦後小説	浅田次郎	戦後の庶民生活や人情に焦点
冒険・山岳小説	笹本稜平	山岳や自然の厳しさと人間ドラマを描く